

## 「生活達人見本市」イン 北海道

- 来て、見て、聞いて -  
さがしてみませんか

『自分印』のライフスタイル

日時：平成 15 年 11 月 16 日（日）  
13:30～16:30

場所：北海道恵庭市  
恵庭リサーチ・ビジネスパークセンタービル



- ・基調講演講師 : 神田山陽（講師）
- ・パネリスト : 井上孝志（ファイナンシャルプランナー/会社員/生活達人委員会委員）、内倉真裕美（恵み野花づくり愛好会）、益山久男（札幌市生涯学習講師の会）、松田洋（奥尻島まつだ鍼灸院院長）
- ・コーディネーター：加藤仁（ノンフィクション作家/生活達人委員会委員）

## ～パネルディスカッションにおける「生活達人」の言葉～

### 「やりたいことができる幸せ」

花で町づくりを進める活動をしています。恵み野は新興住宅街なので、子ども達が巣立っていった時に、ふるさとと言える町を作りたいと思い始めました。ニュージーランドの事例を参考に、フラワーガーデンコンテストを開催するようになりました。町づくりをするには、個人の庭だけでは限界があります。広がりを持つため、商店街、町内会、老人会を巻き込んで、町づくりを進める組織を作り上げました。娘からは、やりたいことができるのはすごく幸せだと言われます。それを思った時、私はやはり幸せだと感じます。花に限らず、自分が興味を持っていることに、これからも前向きにチャレンジしていきたいと思います。（内倉真裕美）



### 「死ぬ瞬間に後悔したくない」

新婚旅行で訪れた奥尻島の自然のすばらしさを知り、夫婦で移り住み、鍼灸院を開院しました。本当に、夫婦

そろって裸一貫からのスタートでした。しばらくは無収入の状態が続きましたが、ここまでこられたのは、自分達の力量に沿って、見栄を張らずにやってきたからだと思います。北海道は、やる気さえあれば受け入れてくれる土地だと感じています。今、人生の拠点となっているのは奥尻ですが、どこで骨を埋めるかは全く分かりません。ただ、死ぬ瞬間に、その日までやってきたことは絶対に悔いたくはありません。今の段階ではそれははっきり言えると思いますし、これからも大切にしていきたい価値観だと思います。（松田洋）

### 「老いて学べば、 すなわち死して朽ちず」

定年後余暇を持て余し、何かお金がかからずに良い方法はないかと思っていたら、北海道大学で社会人向けの大学院募集があったので、試験を受けました。在学中は、息子と同じ世代の教授、孫と同じ世代の仲間の学生に囲まれ、この年になってから青春を取り戻したような気持ちになりました。大学院を出てからは、生涯学習活動をすると共に、1年間で100冊読むことを生きがいとしています。達成は非常に難しいですが、去年は104冊読みました。ページ数にするると約7万ページになります。古本屋に通って、本代も安く抑えています。「老いて学べば、すなわち死して朽ちず」。この考えで今後もがんばりたいと思います。（益山久男）



### 参加者の声（アンケート結果より）



歳をとることに、エネルギーすら感じました。私も頑張ります。

自分の生き方や生活について、見つめ、考えてみるのに良い機会となりました。